

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	一般社団法人岡山中央総合情報公社			代表者名	太田 昇
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	0868-66-2555
担当者役職	総務課長	担当者氏名	木田博之	連絡先E-mail	
住所	709-3717 岡山県美咲町原田3108-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	真庭市	連絡先部署	総合政策部総合政策課		
担当者氏名	藤森広崇	連絡先電話番号	0867-742-1169	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	トップセミナー	事業名	基幹システム標準化・共通化事業
概要	システム標準化・共通化の実装フェーズに向け、自治体首長および職員に向けた講演・情報提供を通じ、政策動向や技術トレンドを踏まえた施策検討のための専門的助言に加え、地域DXの展望や組織・人材マネジメントへの理解を促進し、現場での取組に役立つ具体的な助言をお願いしたい。		
支援を求める分野	自治体システムの標準化・共通化		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	772	令和8年1月19日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月10日	講演(実地)	14時00分	16時40分	10
				活動時間（分）	150
2-2. 派遣場所	会場名	久米南町コミュニティセンター		最寄駅	岡山空港
	所在地	岡山県久米郡久米南町下弓削502-1		最寄駅からの交通手段	車で送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき	
評価	良い	
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体システム標準化について、運用経費問題を中心に、デジタル庁が実施している見積精査支援や国の財政措置等を非常に分かり易く丁寧な説明をいただきました。	
アドバイザーへの要望事項	特になし	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	28人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	17		11
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		標準化・ガバメントクラウド移行後のシステム運用経費が現行と比較して高額となっており、自治体に大きな財政的負担がかかる見通しである。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）		運用経費削減に向けて、自治体として取り得る対応策や工夫の余地を把握するとともに、国が講じている財政支援や見積精査支援の具体的な内容を理解し、今後の計画や予算措置に反映させる。また、標準化の本来の目的や全体像を再確認し、経費面だけにとらわれず、持続可能な行政サービスの実現に向けた中長期的な視点を持つことを目指す。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	自治体システム標準化の背景や目的、現在の進捗状況について丁寧にご説明いただくとともに、国による見積精査支援の仕組みや、運用経費に対して講じられる財政措置について具体的な説明を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	改めて標準化の意義や目的を説明していただいたことで、目先の経費問題にだけとらわれず、大きな視点で制度全体を捉えることができた。また、国の見積精査支援を活用することで、ベンダーとの交渉において客観的な根拠を持ち、経費の削減につなげられる可能性を理解することができた。さらに、運用経費に対して国による財政措置が講じられることを確認できたことで、今後の対応に対する不安がいくぶん軽減された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	講演会后、意見交換を行ったため。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	国の見積精査支援を積極的に活用し、ベンダーとの契約内容や費用の妥当性を精査することで、運用経費の軽減に努める。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	標準化の効果を最大限に活かし、業務効率化と調達の適正化を通じて、持続可能かつ適正な経費でシステム運用が行える体制を構築する。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

